

ニュース和歌山

新聞とwebの求人情報

バイトルドットコム 和歌山

2010 6.26 土

土地活用

地主・テナントオーナー様
ロードサイド出店業者様
居抜き・借地の御用命は

株式会社 森建 TEL073-472-6974
和歌山市田民34-11 和歌山県知事(6)第2531号 http://www.moriken.jp

加太線沿線 歌で元気に



音楽の力で街の活性化めざす

フォークソングで南海加太線沿線を元気にする「わかやまフォークタウン」が二十日、立ち上がった。昨年、和歌山市のアマチュアバンドが作った加太線の応援歌「君待つ加太へ」が反響を集め、さらに歌で地域を盛り上げようと和歌山のミュージシャンが集結。参加者は「市の中心街はライブハウスが増え盛り上がりつつある。歌で加太線沿線に活気を呼びたい」と話している。

和歌山市の会社員、梶川一彦さん、佐藤正光さんが昨年、「君待つ加太へ」を作曲し、バンド、シユガー5としてCDを自主制作した。加太線沿線への思いを込めた

歌詞とグループサウンドの優しい曲が受け、ラジオで再三オンエア。加太線沿線を活気づける音楽イベントが開かれた。

「わかやまフォークタウン」立ち上げ

「わかやまフォークタウン」はこれらの流れを受け、さらに大きな動きにしようと、和歌山市松江北の昭和青春館が中心となり立ち上げた。賛同する地元ミュージシャンを募り、月一回ライブを実施するのが主だが、館のライブに留まらず、

磯ノ浦や加太の地域イベントも企画し、地域の催しにも加わり、活性化を図る計画だ。二十日は、立ち上げと

心街はライブハウスが増え、音楽で街を活気づける動きが出ている。こちらにも多くの人に見に来てもらい盛り上げれば」と望む。

フォークタウンを企画

して「宵祭」を開催。梶川一彦&青春館バンドや、とも&なつき、グラグら八バンドが集まり、今後に向けて顔見せと演奏を行った。

「君待つ加太へ」できっかけを作った梶川さんは「和歌山をテーマにした曲が新たに三曲できました。歌を作り投げかけると強い反響が返って来ます。もつと音楽を広げ、沿線の誇りになれるよう頑張りたい」と力が入る。地道なライブ活動で人気を集めている恭やん&ひでっさんの横山恭治さんは「人と人がつながりやすいのが音楽。市の中

した志賀弘明さんは「ホームグラウンドは加太線沿線です。地域限定で盛り上げたい。まず団塊の世代をターゲットにし、他府県から観光をかねて見に来てもらえる取り組みにつなげたい」と話している。

フォークタウンでは参加ミュージシャンを募っている。昭和青春館(073・456・2473)。